



2019年3月12日
東日本旅客鉄道株式会社
東京支社

常磐(各駅停車)線 車外スピーカーを使用して発車メロディを流す取り組みについて

- JR東日本東京支社では、2018年8月1日から、常磐(各駅停車)線において、ホーム設置のスピーカーに代わり、列車の車体に取り付けられた車外スピーカーから発車メロディを鳴らす取り組みを実施し、かけこみ乗車を減少させることができるか検証していました。
- 検証開始以降、乗車されるお客さまの動向を調査してまいりましたが、車外スピーカーを使用した場合にはかけこみ乗車をするお客さまが減少し、一定の効果が見られたため、今回本実施することといたしました。
- 併せて、お客さまにわかりやすいよう、常磐(各駅停車)線内に乗り入れている、東京地下鉄株式会社、小田急電鉄株式会社にご協力いただき、全ての車両の発車メロディを統一しました。

1 実施線区

常磐(各駅停車)線 亀有駅～取手駅間(13駅)

2 実施時期

2019年3月16日(土) 初電から



E233系(JR所属)



車外スピーカー(JR所属)

3 実施内容

- (1) 昨年実施した、車外スピーカーから発車メロディを流す取り組みの検証結果から、かけこみ乗車が減少し、一定の効果が見られたため、今回本実施することとします。
- (2) 本実施に合わせて常磐(各駅停車)線に乗り入れている全ての車両の発車メロディを統一します。

4 取り組みの経緯

- (1) 従来は、発車前に車掌が駅備え付けのスイッチを扱い、駅備え付けのスピーカーから発車メロディが流れていました。
- (2) 駅備え付けのスピーカーは、階段や改札口など駅構内で広く発車メロディが聞こえるため、かけこみ乗車を誘発してしまうと想定していました。
- (3) 駅備え付けのスピーカーに代わり、車両に搭載された車外スピーカーを使用することで、発車メロディの聞こえる範囲がホーム上のお客さまのみに限られることから、かけこみ乗車の抑制に繋がると考え今回の取り組みを実施しました。